

発信力つけ、にぎわいを

タワービュー通り

タワービュー通り商店街は、錦糸町と押上を結ぶ約1.2kmの直線通りだ。錦糸町側を背にして見上げると正面に東京スカイツリーに現名称で新たに始動した。

村方龍太会長



一月に開設した公式サイト(トップ画面)



https://towerview-st.jp

「基本はBtoBの取引先を消費者にも広げよう」と取り組んでいた矢先だった。基本はBtoBの取引先を消費者にも広げよう」と取り組んでいた矢先だった。基本はBtoBの取引先を消費者にも広げよう」と取り組んでいた矢先だった。

「SNSの情報発信で興味を持って下さった方々の受け皿がようやく完成した。認知度が上が期待できる」と、3月には「ドリン

新たな商店街として始動



メイン通り、東京スカイツリーが目前に迫る1本道。無電柱化されており、絶好の撮影スポットでもある

「単会イベントを企画し、集客するの難しさを克服した」と、地域を包括し、面を捉え、回遊性のある内容にする。個店への誘導にもつながっていく。通りが活気づけば、出店を考えた若い人が出てくる。商店街にしていきたい。

「今必要なのは、にぎわいを生み出すこと。活気が増せば人が集まり加盟店も増えていくと思う。加盟して良かったと言われる商店街にしていきたい。」

「シモキタ太夫」のおなり 節分の夜においらん道中



下北沢あずま通り

華やかな「花魁道中」をひと目見ようと、あずま通りは大勢の見物客でにぎわった



「節分お化け」参加者達の記念撮影

節分の夜に厄払いの儀式と花魁道中を下北沢で体験できる。世田谷区の下北沢東会(通称「下北沢あずま通り商店街」)が2月1日に「節分お化け祭り」を実施した。10年続いた宮城県女川町を支援するための「イカ祭り」に代わる新たなイベントとして初の開催だ。

1月末から立春にかけての数日間、下北沢の街は節分にちなんだ商店街イベントで毎年1日の日中、しもきた商店街(徳で「ちびっこ天狗道中」、下北沢

春告ぐ餅つき

地域ぐるみで



子ども達も参加してべったん、べったんときねを振り下ろす。用意した餅米は新潟産の「こがねもち」100kgだ

「よいしょ、よいしょ」。威勢の良いかけ声とそれに心惹かれる。近年は単会での運営が難しくなっていることから、近隣4つの商店街で結成している浮間商店街連合会(北区)主催の「餅つき大会」が2月2日、JR北赤羽駅浮間口駅前の高架下広場で行われ、800人に無料で「つき手」として参加された。

節分に合わせ、縁起の良い「開運餅」で邪気払いしてもらおうと実施している恒例行事。当日は、冷たい小雨が降るあいにくの天候で客足が心配されたが、高架下という立地の良さもあって、引き換え開始の午前10時前には家族連れを中心に行列ができた。

近所から来たという親子は、電気店の買い物で引換券を入手し、初参加。「お餅が好きなものでうれしい。子どもに昔ながらのお餅つきを見せてあげられたのも良かった」と笑顔を見せた。昨年に続き、2度目という親子は、歯医者や飲食店で引換券をもらい、2バックと交換し、「無料でいただけるなんてありがたい。大変だと思いが、続けてほしい」と喜んだ。

浮間商店街連合会の山田智明会長によると、この餅つき大会の歴史は30年以上にわたること。過去には、その当時ゆかりのあった宮城野部屋の力士たちが招いたこともあったという。近年は単会での運営が難しくなっていることから、近隣4つの商店街で結成している浮間商店街連合会(北区)主催の「餅つき大会」が2月2日、JR北赤羽駅浮間口駅前の高架下広場で行われ、800人に無料で「つき手」として参加された。

山田会長は、「地域ぐるみの協力があって成り立っています。今回は、各方面から50人以上が集まってくれました。連合会の結びつきも強いですが、先輩方に支えられているのも大きい」と感謝を示した。また、イベントを振り返り、「浮間エリアは近年、若いファミリー層が増えています。新規顧客獲得のチャンスが広がっています。今後もイベントを通じて商店街の活性化を図り、ひいては地域全体の盛り上げを目指していきたい」と話した。

浮間銀座



加盟店利用者に事前配布された引換券1枚につき、1バック(餅2個入り)と交換できた

一番商店街を行えば来街者が一日(振)では天中下北沢を回遊できる。凍としてあややかな花魁道中を午後6時と7時半からの2回、商店街のメインストリート約1.2kmで行った。

主役の花魁「下北太夫」に扮したのは、P・E・T・E・R・S・2023年のファッション・ウィークのサンバ・パカ・ニバルで日本人女性

初「センター」を務めた。節分お化けとは、京都を中心に江戸末期から盛んになった厄払いの「異装儀式」。節分の夜に横行する鬼たちをやり過ごすため、普段と違う姿をしたこと由来するという。あずま通りでは、この儀式の趣旨解説が書かれた鬼の面を無料配布。近隣の高校に通う生徒達や、来街者の飛び入り参加者などに面をつけて通りを練り歩いていた。

初のイベントを終えた金子会長は「想像以上に多くの観客が集まり驚いたが、無事に2回の道中が行えてよかったと安堵しつつ、来年も実施して、新たな名物にして」と意欲も見せていた。

魅力ある街づくりのためには

“振興組合化”から!

TOSHINREN-information

振興組合設立のためには?

- 振興組合を設立するためには、発起人が**7人以上**おり、次の3つの要件を満たすことが必要です
- ①小売商業、サービス業を営む者が**30人以上**近接して商店街を形成していること
 - ②他の商店街振興組合の地区と重複しないこと
 - ③その地区内の**組合員有資格者の2/3以上が組合員**となり、かつ、**総組合員の1/2以上が小売商業またはサービス業**であること



振興組合設立のメリットは?

- ①人的なまとまりが強くなり組織力が強化されます
- ②組合運営および会計が明確化され新規加入促進につながります
- ③法律に基づく法人であるため、社会的な信用が高まります
- ④国や都、区市など行政の助成金や施策が活用できます